

速効!



BABO
アートワークス [著]
BABO Art Works



Photoshop Elements 10

Windows &
Mac対応



基本から応用まで網羅!

エレメンツでデジカメ写真の
整理・加工が自由自在

わかり
やすさ

No.1

速効!



SokkoZukai
Photoshop
Elements 10

BABO
アートワークス [著]
BABO Art Works



Photoshop Elements 10

Windows &
Mac対応



●速効! 図解シリーズ発刊にあたって

パソコンやアプリケーションソフトの操作をマスターするための最短・最良の方法は、やはり、人にマンツーマンで教えてもらうことだと言えます。しかし、すべての人がそのような恵まれた環境にいないのも事実です。速効! 図解シリーズは、私たちマイナビが、多くのパソコン関連雑誌および書籍で培ったノウハウを活かし、“マンツーマンでやさしく教える”ような書籍を目指して発刊致しました。

また、速効! 図解シリーズでは、個人個人によってその習熟の度合いや知りたい事柄、理解しやすい覚え方が異なることを十分考慮し、その人にあった使い方・読み方ができるようになっています。詳しくは、次ページの「速効! 図解シリーズの使い方・読み方」をお読みいただき、自分にあった使い方・読み方を試してみてください。それが、パソコンおよびアプリケーションソフト操作のマスターに“速く効く”やり方だと考えます。

(株) マイナビ

●『速効! 図解 Photoshop Elements 10』執筆にあたって

一眼レフカメラをはじめとしたデジタルカメラの普及や、携帯電話のカメラ性能の向上によって、今やデジタル画像は誰にとっても身近な存在になりました。ただ写真を撮るだけでなくメールで送信したり、ブログやその他のソーシャルネットワークサービスを活用して、家族・友人といった近い人と思い出を共有。あるいは、世界中の人に向けて公開することも手軽にできるようになっています。そんなユーザのデジタルフォトライフを楽しくしてくれるのが、Adobe Photoshop Elements です。

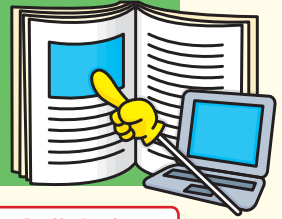
Adobe Photoshop の入門版としてリリースされた Adobe Photoshop Elements は、デジカメ画像の取り込みから画像の整理・管理、レタッチ、加工や合成、そしてさまざまなメディアへの配信まで、すべてをこなすオールインワンソフトとして進化し続け、今回で9度目のバージョンアップを果たしました。デジタル画像愛好家を充分満足させられる機能の数々を備え、かつ操作自体をも楽しむことのできる洗練されたインターフェースを持っています。

本書はそんな Photoshop Elements 10 の機能を、サンプル画像を使ってよりわかりやすく解説することに留意しました。また、読者の方が本書と同じ操作を試すことができるよう、すべてのサンプル画像はダウンロードできるようになっています。より楽しく豊かなデジタルライフのために、本書がその一助となれば幸いです。

2011年11月
BABO アートワークス

速効! 図解シリーズの使い方・読み方

まずは、速効! 図解シリーズの上手な使い方・読み方を紹介していきます。“パソコンやアプリケーションの操作を覚えたい” という思いは一緒でも、人それぞれで知りたい事柄や理解しやすい覚え方は少しずつ違うものです。そこで、速効! 図解シリーズでは、人によって異なるニーズに応えるためにいろいろな使い方・読み方ができるようになっています。あなたにあった使い方・読み方で、素早く・効率的にパソコンやアプリケーションの操作をマスターしましょう。



Section タイトル

各 Section は「～するには」「～とは」などの目的別に構成されているので、やりたいこと・知りたいことを簡単に探せます。

操作のポイント

各 Section で紹介している操作のおおまかな流れを紹介しています。

左ページツメ

各 Chapter のタイトルが入っています。

本文

流れに沿ってスムーズに理解できるように、丁寧な文章で操作の仕方を解説しています。文中の(1)の数字は「操作手順」の番号と連動しています。

操作手順

操作の手順を番号付きで紹介しています。番号にしたがってここだけを読み進んでも、操作の仕方がわかるようになっています。

重要度

*の数で重要度を表わしています。「***」がもっとも基本的な項目で、「**」「*」と*の数が少なくなるほどより進んだ使い方の項目になっています。

機能・操作タイトル

その Section で使う機能や操作の名前です。

Chapter 3
Section 38 重要度 ▶ *** 標準編集モード

標準編集モードに切り替えるには

複雑な加工や高度な画像合成をするなら、標準編集モードのさまざまな機能を駆使して作業します。ここでは標準編集モードへの切り替え方を見てください。

操作のポイント

Elements Organizer で画像を選択 → [補正] タブの [標準写真編集] をクリック → クイック編集モードで作業 → [標準] タブをクリック

Elements Organizerから標準編集モードへ切り替える

1 画像を選択する

Elements Organizerから編集ワークスペースの標準編集モードに切り替えてみましょう。まず、Elements Organizerが起動している状態(1)、加工したい画像をクリックして選択(2)、右上にある[補正]タブのをクリックし(3)、[標準写真編集]を選択します(4)。

2 Elements Organizerが起動しています。

3 加工したい画像をクリックして、

4 ここをクリックして、

5 標準写真編集を選択します。

6 標準編集モードに切り替わりました。

標準編集モードに切り替わった!

すると、Elements Editorが起動し、標準編集モードで画像を開くことができました(6)。Elements Organizerで画像を選択していなくても標準編集モードに切り替えることができます。



●その1●

最初からすべてのSectionを順番に読んで完全マスター

本書は、基本的に見開き2ページで完結する各Sectionで構成されています。Sectionを最初から順番に読み進んでいけば、無理なくスムーズに操作をマスターすることができます。

●その2●

重要度「***」だけを読んで基本操作を短時間マスター

本書では、各Sectionごとに*の数で表した重要度を付けています。もっとも基本的な「***」のSectionだけを読んでいけば、短時間で基本操作がマスターできます。

●その3●

やりたいこと・知りたいことだけを読んで効率的にマスター

本書の各Sectionは「～するには」「～とは」などの目的別に構成されています。自分のやりたいことや知りたいことだけを探して読んでいけば、効率的に操作がマスターできます。

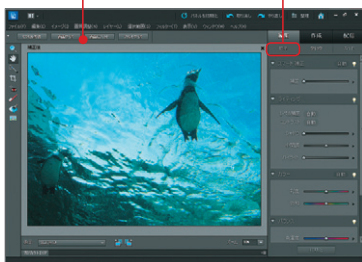
クイック編集モードから標準編集モードへ切り替える

クイック編集モードで画像を開く

クイック編集モードから標準編集モードに切り替えてみましょう。編集ワークスペースのクイック編集モードで画像が開いた状態で①、右上にある「標準」の文字をクリックします②。

① クイック編集モードで画像を開いた状態です。

② ここをクリックします。

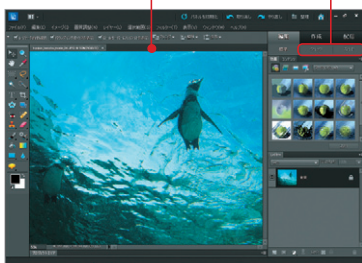


標準編集モードに切り替わった!

すると、標準編集モードに切り替わりました③。別の編集モードに切り替えるときは手順1と同様に右上の「クイック」または「ガイド」の文字をクリックします④。各編集モードに切り替えるとき、画像を開いていなくても切り替えることができます。

③ 標準編集モードに切り替わりました。

④ ここをクリックして別の編集モードに切り替えられます。



知っておくと便利!

どういときに標準編集モードに切り替えるのか

編集ワークスペースには3つの編集モードがあります。ガイド付き編集モードはガイドに従って一定の作業を行い、クイック編集モードは画像全体を簡単に補正します。これに対し、標準編集モードは文字を入力したり、画像を合成したり、複数のレイヤーで作業したり、より複雑な画像加工や補正を行うときに利用します。



標準編集モードは文字を入力したり合成したり、より複雑な加工を行う場合に利用します。

右ページツメ

機能や操作の名前で必要なSectionが探せます。

コラム

本書には以下の6種類のコラムが用意されています。本文と併せてこれらのコラムを読むことで、より幅広い知識が身に付きます。

ここに注意! 操作のポイントや、間違いやすい点を解説しています。

間違えたら?..... 操作を間違えたときの対処方法を紹介しています。

なぜ? こうなる? 操作の意味合いや関連知識などを紹介しています。

用語の説明 知っておきたい用語をわかりやすく説明しています。

知っておくと便利! 一歩進んだ使い方や役立つ情報を紹介しています。

こんな方法も..... ショートカットや、別の操作方法を紹介しています。

C O N T E N T S

速効! 図解 Photoshop Elements 10 Windows&Mac 対応 ◆ 目次

● はじめに	3
● 速効! 図解シリーズの使い方・読み方.....	4
● Photoshop Elements の使い方	12
● サンプル画像をダウンロードしよう	14
● ツールボタン・ツール INDEX	16

Chapter 1 画像の取り込みと整理 17

Section

*** 01	Elements Organizer を起動・終了するには	[Elements Organizer の起動と終了] ...	18
*** 02	Elements Organizer の画面を見てみよう	[Elements Organizer の基本画面]	20
*** 03	デジタルカメラから画像を取り込むには	[取り込み (カメラ・カードリーダー)]	22
*** 04	ファイルやフォルダーから画像を取り込むには	[取り込み (ファイル・フォルダー)]	24
*** 05	撮影した順で画像を閲覧するには	[メディアブラウザー]	26
** 06	撮影時期で画像を閲覧するには	[タイムグラフ]	28
** 07	画像を項目別に整理するには	[アルバム]	30
*** 08	画像にキーワードを付けて管理するには	[キーワードタグ]	32
*** 09	人物ごとに写真を整理するには	[人物認識]	34
** 10	人物以外の被写体で写真を検索するには	[写真内のオブジェクトを検索]	38
** 11	重複した写真を素早くまとめるには	[重複する写真を検索]	40
* 12	画像を重ねて表示するには	[自動的に写真をスタック]	42
** 13	指定した条件で画像をまとめるには	[スマートアルバム].....	44
*** 14	不要な画像を消去するには	[カタログから削除]	46
*** 15	画像をカレンダー形式で表示するには	[日付表示]	48
** 16	画像をスライドショー形式で表示するには	[フルスクリーン表示]	50
** 17	複数の画像を比べながら選ぶには	[写真を並べて比較]	52
** 18	画像を手軽に補正するには	[補正コマンド]	54

Chapter 2 画像の補正 57

Section

*** 19	編集ワークスペースに移動するには	[編集ワークスペース] 58
*** 20	編集ワークスペースの画面を見てみよう	[編集ワークスペースの基本画面] 60
*** 21	編集したい画像を開く・閉じるには	[開く・閉じる] 62
*** 22	見たい部分を表示するには	[手のひらツール・ズームツール] 64
*** 23	複数の画像を簡単に切り替えて表示するには	[プロジェクトエリア] 66
*** 24	補正前と補正後の表示を並べてみるには	[表示] 68
** 25	自動的に画像を補正するには	[自動スマート補正] 70
** 26	画像の明るさを自動的に補正するには	[自動レベル補正] 72
** 27	画像のコントラストを調節するには	[明るさ・コントラスト] 74
** 28	画像の色味を自動的に補正するには	[自動カラー補正] 76
** 29	カラーカーブで補正するには	[カラーカーブ] 78
* 30	深みのあるモノクロ画像を作成するには	[モノクロバリエーション] 82
** 31	人物の肌色を自然に補正するには	[肌色補正] 84
** 32	ピンぼけ画像をくっきりとさせるには	[シャープを調整] 86
** 33	レンズのゆがみを補正するには	[レンズ補正] 88
** 34	ドラッグで手軽に補正するには	[タッチアップペイント] 90
** 35	画像の不要な部分をカットするには	[切り抜きツール] 94
** 36	ガイドに沿って画像を編集するには	[ガイド付き編集] 98
*** 37	画像を保存するには	[保存・別名で保存] 104

Chapter 3 高度な画像編集 107

Section

*** 38	標準編集モードに切り替えるには	[標準編集モード]	108
*** 39	ツールとパネルを操作するには	[ツールとパネルの操作]	110
* 40	画像を絵画調にするには	[アーティストティックフィルター]	112
** 41	画像をぼかすには	[ぼかしフィルター]	114
** 42	画像を自由に変形するには	[ゆがみフィルター]	116
** 43	キズや汚れを隠すには	[スポット修復ブラシツール]	118
** 44	ドラッグで写真を補正・加工するには	[スマートブラシツール]	120
** 45	画像の一部を複製するには	[コピースタンプツール]	124
** 46	画像の一部を型抜きするには	[型抜きツール]	126
** 47	画像の一部を別の色に変えるには	[色の置き換えツール]	128
** 48	フレームを付けて飾るには	[フレーム]	130
** 49	操作をさかのぼって取り消すには	[履歴パネル]	132
** 50	画像の角度を補正するには	[角度補正ツール]	134
** 51	画像を必要なサイズにするには	[画像解像度]	136
* 52	キャンバスの大きさを変えるには	[キャンバスサイズ]	138
** 53	Raw データを調整して開くには	[Camera Raw]	140
** 54	画像の背景だけを変形するには	[再構成ツール]	142
*** 55	色調補正を何度でもやり直せるようにするには	[調整レイヤー]	144
*** 56	画像の一部だけを補正するには	[レイヤーマスク]	146

Chapter 4 画像の合成 149

Section

*** 57	複数の画像を重ねて合成するには	[移動ツール]	150
*** 58	画像の一部を切り抜いて合成するには	[なげなわツール・コピー・ペースト] ...	152
** 59	画像の大きさや角度を調整するには	[バウンディングボックス]	154
*** 60	複数の画像を合成するには	[レイヤー]	156
** 61	合成画像を透明にするには	[レイヤーの不透明度]	158
*** 62	画像の重なり順を変えるには	[レイヤーの移動と削除]	160
** 63	選択範囲を作るには	[長方形選択ツール・楕円形選択ツール]	162
** 64	画像の一部を素早く選択するには	[クイック選択ツール]	164
** 65	ワンクリックで画像を選択するには	[自動選択ツール]	166
** 66	描くように選択範囲を作るには	[選択ブラシツール]	168
** 67	画像を簡単に切り抜くには	[マジック抽出・マジック消しゴムツール]	170
** 68	グループ写真の「いいとこ取り」をするには	[Photomerge Group Shot]	172
** 69	風景写真から不要物を取り除くには	[Photomerge Scene Cleaner]	174

Chapter 5 文字の入力と装飾 177

Section

*** 70	文字を入力するには	[文字ツール]	178
*** 71	図形や線に沿って文字を配置するには	[選択範囲・シェイプ・カスタムパスに沿ったテキストの追加ツール]	180
** 72	文字の大きさを変えるには	[フォントサイズを設定]	184
** 73	書体を変えるには	[フォントの設定]	186
** 74	行の揃え方や間隔を設定するには	[行揃え／行送り]	188
** 75	文字の色を変えるには	[テキストカラー]	190
** 76	文字にレイヤースタイルを適用するには	[レイヤースタイル]	192
* 77	画像を文字の形に切り抜くには	[文字マスクツール]	196
* 78	文字をゆがめるには	[ワーブテキスト]	198

Chapter 6 イラストを描く 201

Section

*** 79	新しい画像ファイルを作るには	[白紙ファイル]	202
** 80	イラストの色を簡単に選ぶには	[スウォッチパネル]	204
*** 81	色を自由に選ぶには	[カラーピッカー]	206
** 82	さまざまな線を描くには	[鉛筆ツール・ブラシツール]	208
* 83	線の形状を自由に設定するには	[ブラシオブション]	210
** 84	不要な部分を消すには	[消しゴムツール]	212
** 85	色で塗りつぶすには	[塗りつぶしツール]	214
*** 86	新しいレイヤーでイラストを描くには	[新規レイヤー]	216
** 87	レイヤー全体を塗りつぶすには	[塗りつぶしレイヤー]	218
** 88	グラデーションを使うには	[グラデーションツール]	220
** 89	図形を描くには	[シェイプツール]	220
** 90	立体感のある図形を描くには	[レイヤースタイル]	224

Chapter 7 画像の活用 227

Section

** 91	電子メールに画像を添付して送るには	[電子メールにファイルを添付]	228
*** 92	画像をプリンターでプリントするには	[ローカルプリンターでプリント]	230
** 93	複数の画像を同時にプリントするには	[インデックスプリント・ピクチャパッケージ]	232
** 94	画像を CD や DVD に書き込むには	[リムーバブルドライブにコピーまたは移動]	234
* 95	フォトブックを作るには	[フォトブック]	236
* 96	画像を組み合わせてスライドショーを作るには	[PDF スライドショー]	240
* 97	画像をホームページにするには	[オンラインアルバム]	242
* 98	Facebook や Flickr で配信するには	[Facebook に配信・Flickr に配信] ...	246
** 99	Web 用に画像を保存するには	[Web 用に保存]	248

● 索引	250
------------	-----

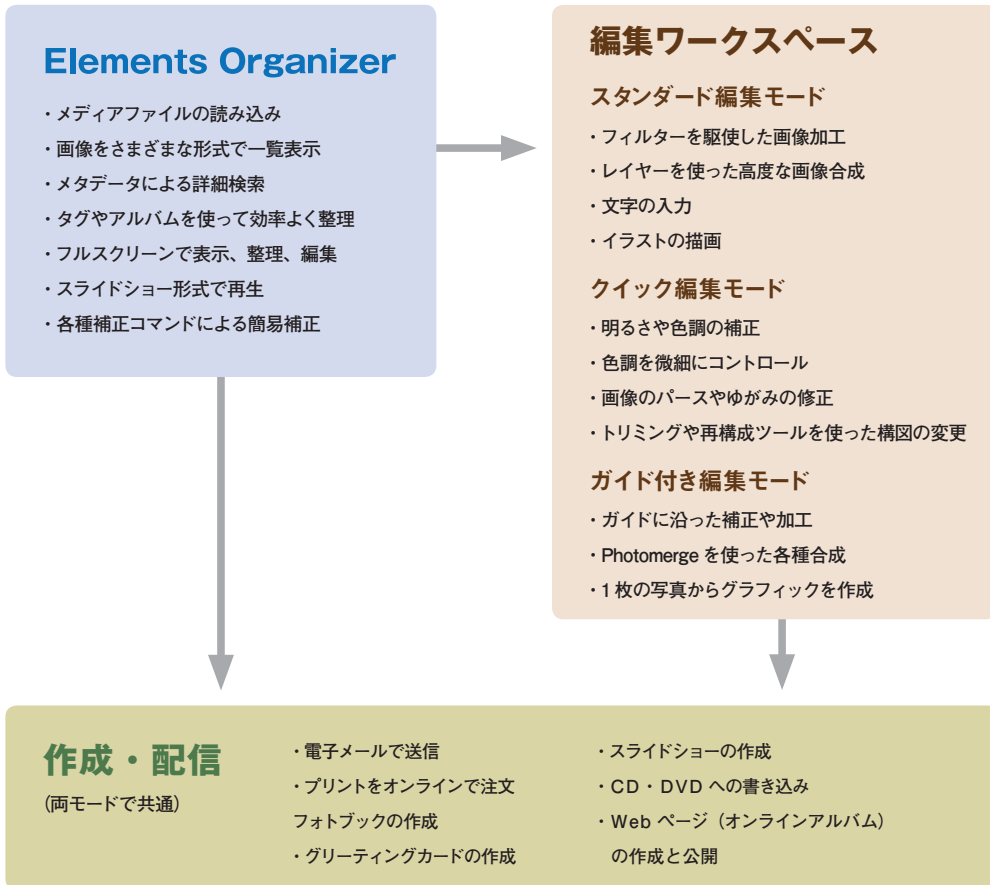


Photoshop Elementsの使い方

Photoshop Elementsは何でもこなせるオールインワンソフトですが、使用するのにすべての機能を熟知しなければいけないわけではありません。個々のユーザの目的に応じてさまざまな使い方ができるのも、Photoshop Elementsの大きな魅力の一つです。

Photoshop Elementsの仕組みと使い方

Photoshop Elementsは、「Elements Organizer」と「編集ワークスペース」の2種類のソフトが同居しているような仕組みになっています。作成と配信の機能は両モードとも共通のものを利用できます。Elements Organizerで写真を整理したら、すぐに作成と配信作業に移ることもできますし、その前に編集ワークスペースへ移動して補正や加工を行うといった使い方もできます。



写真を読み込んですぐに友人に配りたいユーザーは…

面倒な作業は一切行わず、撮影した写真をすぐに友人に見せたいユーザーは、Elements Organizer だけですべての目的を達成することができます。各種整理機能も、ドラッグ&ドロップの直感的な操作で利用することができます。また、簡単な補正ならワンクリックで行うことも可能です。

参照 Chapter



コンピューターならではの整理方法が魅力の Elements Organizer。図は「人物認識」の機能を使って、人物の顔を自動で検索しながらタグ付けを行っているところです。ほかにもさまざまな条件でメディアを整理することができます。

補正にこだわりたいユーザーは…

写真の仕上がりにこだわりたいユーザーは、編集ワークスペースの「クイック編集」モードを開いてみましょう。写真のライティングやカラーバランスを、スライダーの操作だけで直感的にレタッチすることができます。

参照 Chapter

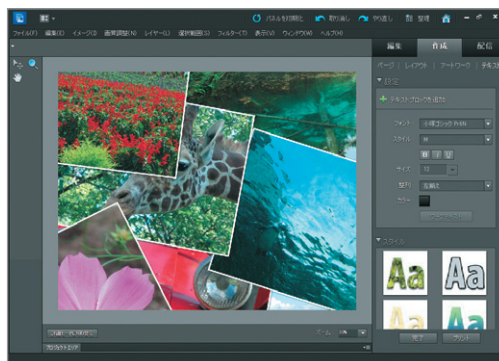


編集ワークスペースのクイック編集モードでは、補正前と補正後の結果を見比べながらパネルのスライダーをドラッグして補正を行うことができます。

本格的なデザインに取り組みたいユーザーは…

デジタル画像に文字やイラストを配置してグラフィック作品を作成したり、画像合成や加工など本格的なデザインワークを楽しみたいユーザーは、編集ワークスペースの「スタンダード編集」モードで作業しましょう。プロも満足する編集機能が豊富に用意されています。

参照 Chapter



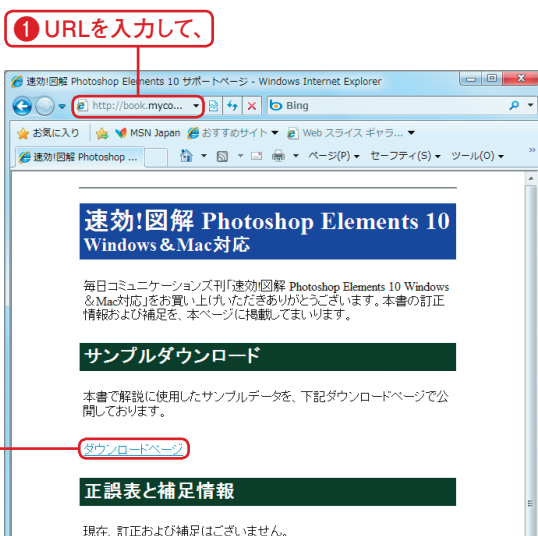
誰もが挑戦してみたい画像合成も、Photoshop Elements を使えばイメージ通りの作品に仕上げることができます。

サンプル画像をダウンロードしよう

本書がPhotoshop Elementsの解説に使用している画像データは、Webサイトからダウンロードできるようになっています。パソコンの操作や機能は、実際に操作することでより深く学習することができます。是非活用してください。データはChapter単位またはSection単位でダウンロードが可能です。

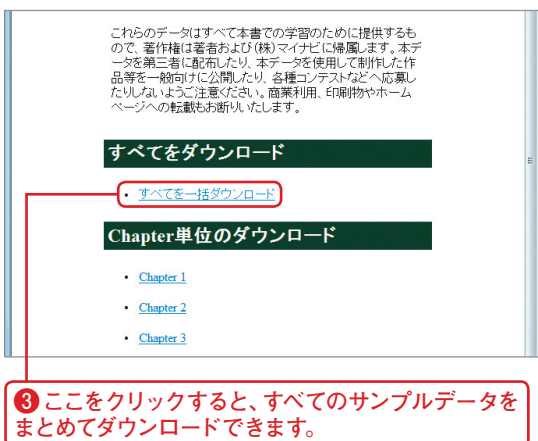
ダウンロードサイトへ移動する

お使いのパソコンでWebブラウザを起動して、ダウンロードサイトのURLを入力します(①)。サイトのURLはhttp://book.mynavi.jp/support/bookmook/sokko/pse10/index.htmlです。右図のページにアクセスできたら、[ダウンロードページ]をクリックします(②)。



すべてのサンプルをダウンロードする

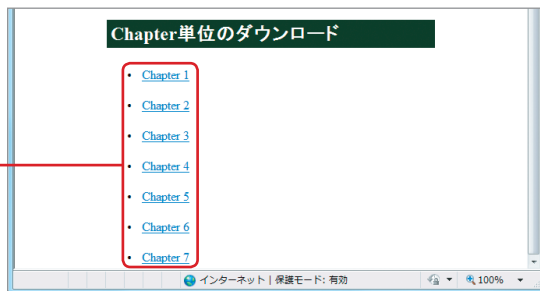
下方向に画面をスクロールすると、ダウンロードするファイルを選べます。[すべてを一括ダウンロード]をクリックすると(③)、用意されているすべてのサンプルデータをまとめてダウンロードすることができます。データの量が多いので、時間に余裕をもって実行してください。



Chapter単位でダウンロードする

さらに下へ移動すると、[Chapter単位のダウンロード] があります (4)。Chapter番号をクリックして、個別にダウンロードすることが可能です。

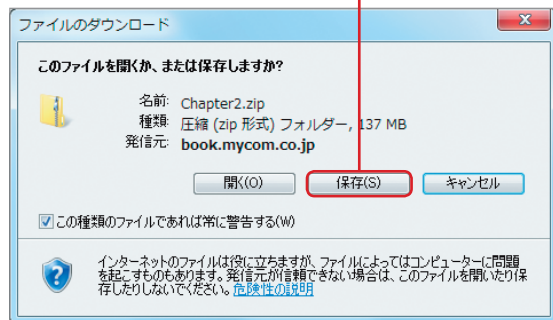
4 Chapter単位でダウンロードすることもできます。



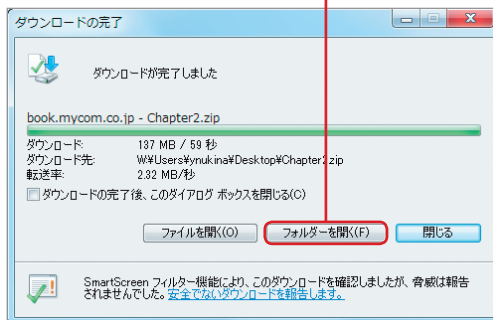
ダウンロードを開始する

[すべてを一括ダウンロード] またはChapter番号をクリックすると、ダウンロード後の処理を決めるダイアログボックスが表示されます。Macの場合はダイアログボックスは表示されずに、所定の場所へすぐにダウンロードされます。[保存] ボタンをクリックして保存場所を指定すると (5)、ダウンロードが始まります。完了したら [フォルダーを開く] ボタンをクリックします (6)。

5 ここをクリックして保存場所を指定します。



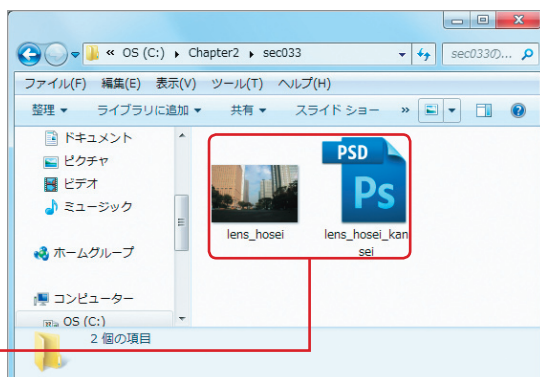
6 ダウンロードが終わったら、ここをクリックします。



サンプルデータを開く

フォルダーが開いたら、中にある圧縮ファイルをダブルクリックして開きます。試したいChapterやSectionのフォルダーを開くと、サンプルの元画像と完成画像が表示されます (7)。





7 フォルダーを開いていくと、サンプルデータを使用できます。








ツールINDEX

Photoshop Elementsには、さまざまなツールボタンとツールが用意されています。
各ページの解説を参考に使いこなして、効率よく作業しましょう。

ツール

-  スタートアップスクリーン
..... P.18
-  取り消し P.21
-  やり直し P.21
-  画面表示 (Organizerのみ)
..... P.21

ボタン (Organizer 専用)

-  左に回転 P.21
-  右に回転 P.21
-  サムネール (小) P.21
-  サムネール (大) P.21
-  フルスクリーンで表示、編集、整理
..... P.50

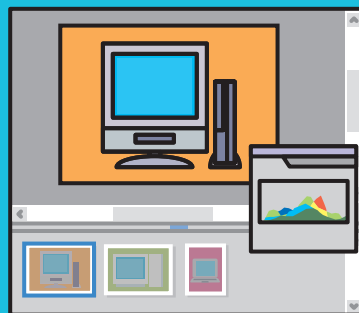
ツール(編集ワークスペース専用)

-  赤目修正ツール P.90
-  歯を白くする P.91
-  どんよりとした雲を青くする ... P.92
-  白黒 (高コントラスト) ... P.93
-  移動ツール P.150
-  ズームツール P.64
-  手のひらツール P.64

-  長方形選択ツール ... P.162
-  楕円形選択ツール ... P.162
-  なげなわツール P.152
-  自動選択ツール P.166
-  クイック選択ツール ... P.164
-  選択ブラシツール ... P.168
-  横書き文字ツール ... P.178
-  縦書き文字ツール ... P.178
-  横書き文字マスクツール ... P.196
-  縦書き文字マスクツール ... P.196
-  選択範囲に沿ったテキストの追加ツール
..... P.180
-  シェイプに沿ったテキストの追加ツール
..... P.180
-  カスタムパスに沿ったテキストの追加ツール
..... P.180
-  切り抜きツール P.94
-  再構成ツール P.142
-  型抜きツール P.126
-  角度補正ツール P.134
-  スポット修復ブラシツール ... P.118
-  修復ブラシツール P.119
-  コピースタンプツール ... P.124
-  消しゴムツール ... P.153、212
-  背景消しゴムツール ... P.170
-  マジック消しゴムツール ... P.170
-  ブラシツール P.210
-  色の置き換えツール ... P.128
-  鉛筆ツール P.208
-  スマートブラシツール ... P.120
-  詳細スマートブラシツール ... P.121
-  塗りつぶしツール ... P.214
-  グラデーションツール ... P.220
-  長方形ツール P.222
-  角丸長方形ツール ... P.224
-  楕円形ツール P.223
-  多角形ツール P.226
-  ラインツール P.226
-  カスタムシェイプツール ... P.226

Chapter 1

画像の取り込みと整理

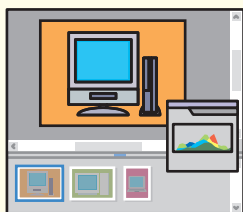


速効!図解 Photoshop Elements 10 Windows & Mac対応

Section

*** 01 Elements Organizerを起動・終了するには	[Elements Organizerの起動と終了]	018
*** 02 Elements Organizerの画面を見てみよう	[Elements Organizerの基本画面]	020
*** 03 デジタルカメラから画像を取り込むには	[取り込み(カメラ・カードリーダー)]	022
*** 04 ファイルやフォルダーから画像を取り込むには	[取り込み(ファイル・フォルダー)]	024
*** 05 撮影した順で画像を閲覧するには	[メディアブラウザー]	026
** 06 撮影時期で画像を閲覧するには	[タイムグラフ]	028
** 07 画像を項目別に整理するには	[アルバム]	030
*** 08 画像にキーワードを付けて管理するには	[キーワードタグ]	032
*** 09 人物ごとに写真を整理するには	[人物認識]	034
** 10 人物以外の被写体で写真を検索するには	[写真内のオブジェクトを検索]	038
** 11 重複した写真を素早くまとめるには	[重複する写真を検索]	040
* 12 画像を重ねて表示するには	[自動的に写真をスタック]	042
** 13 指定した条件で画像をまとめるには	[スマートアルバム]	044
*** 14 不要な画像を消去するには	[カタログから削除]	046
*** 15 画像をカレンダー形式で表示するには	[日付表示]	048
** 16 画像をスライドショー形式で表示するには	[フルスクリーン表示]	050
** 17 複数の画像を比べながら選ぶには	[写真を並べて比較]	052
** 18 画像を手軽に補正するには	[補正コマンド]	054

重要度 ▶ ***

Elements Organizerの
起動と終了Elements Organizerを
起動・終了するには

Elements Organizerでは、画像の取り込みや整理をすることができます。まずはこのモードでPhotoshop Elementsを起動してみましょう。操作が完了したらPhotoshop Elementsを終了します。

操作のポイント

Photoshop Elementsを
起動

[整理] を選択



起動


[終了] を選択

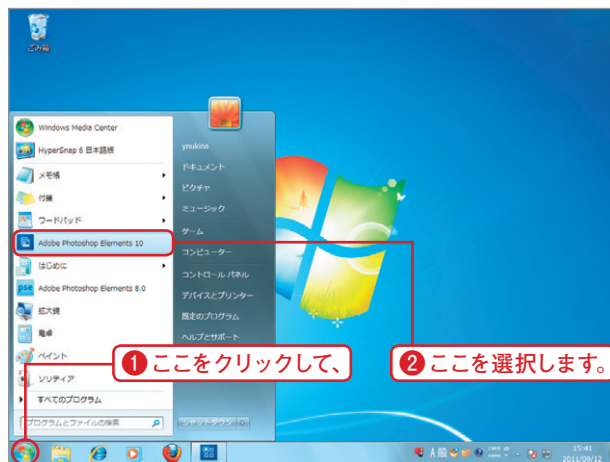


終了

見出しテキスト

Photoshop Elementsを
起動する

Elements Organizerを起動してみましょう。まず、デスクトップの[スタート]ボタンをクリックし(①)、[すべてのプログラム] → [Adobe Photoshop Elements 10] を選択します(②)。Macでは次ページ下の「ここに注意!」を参照してください。



[整理] を選択する

すると、Photoshop Elementsの起動が始まります。しばらく待つと、右図のようなスタートアップスクリーンが表示されるので(③)、[整理] ボタンをクリックします(④)。



3

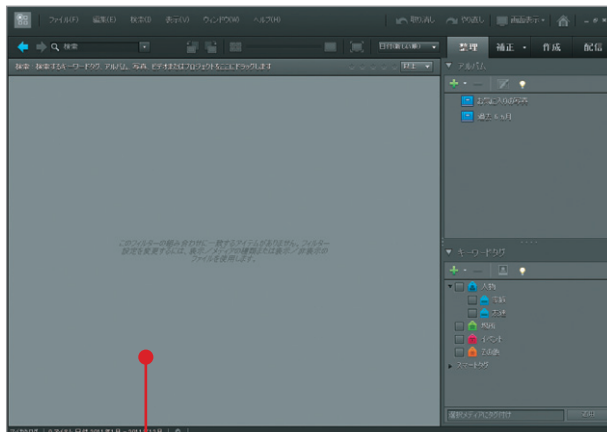
Elements Organizerが起動した!

Elements Organizerが起動します (5)。

知っておくと
便利!

編集ワークスペースに
切り換えるには

Elements Organizerから編集ワークスペースに移動するには、画面右側にある [補正] タブの右の▼をクリックして、表示されるメニューから編集モードを選びます。

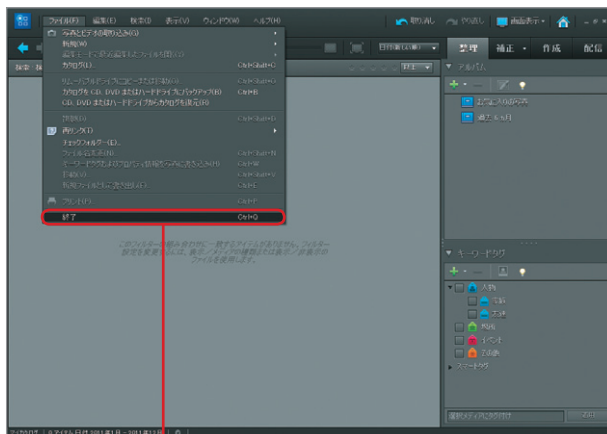


5 Elements Organizerを
起動できました。

Elements Organizerの終了

[終了]を選択する

作業が終わったら、Elements Organizerを終了しましょう。[ファイル] メニューから [終了] (Macでは [Adobe Elements 10 Organizer] メニューから [Adobe Elements 10 Organizerを終了]) を選択します (1)。



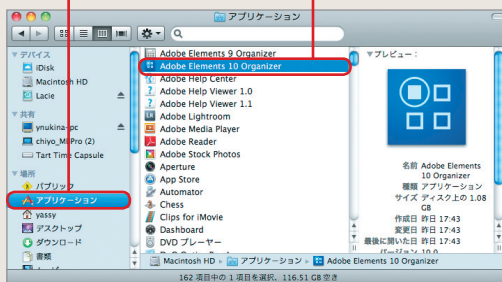
1 ここを選択します。

ここに
注意!

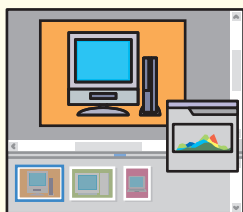
Macで Elements Organizerを
起動するには

Finderウィンドウの左にあるサイドバーから [アプリケーション] を選択し (1)、[Adobe Photoshop Elements 10 Organizer] をダブルクリックします (2)。また、同じく [アプリケーション] 中にある [Adobe Photoshop Elements 10] をダブルクリックして開き、[Adobe Photoshop Elements 10] をダブルクリックすれば、編集ワークスペース (P.58参照) を直接起動することができます。

1 ここをクリックして、 2 ここをダブルクリックします。



重要度 ▶ ***

Elements Organizerの
基本画面Elements Organizerの
画面を見てみよう

Elements Organizerが起動すると、デジタルカメラからの画像の取り込みや、取り込んだ画像の整理・分類などができる状態になります。ここではElements Organizerの基本画面を見てみましょう。

Elements Organizerの各部分の名称

基本的な画面構成

Elements Organizerをよく知るために、まずは基本的な画面構成の各部名称を見ていきましょう。

検索バー

検索条件を表示します。

メニューバー

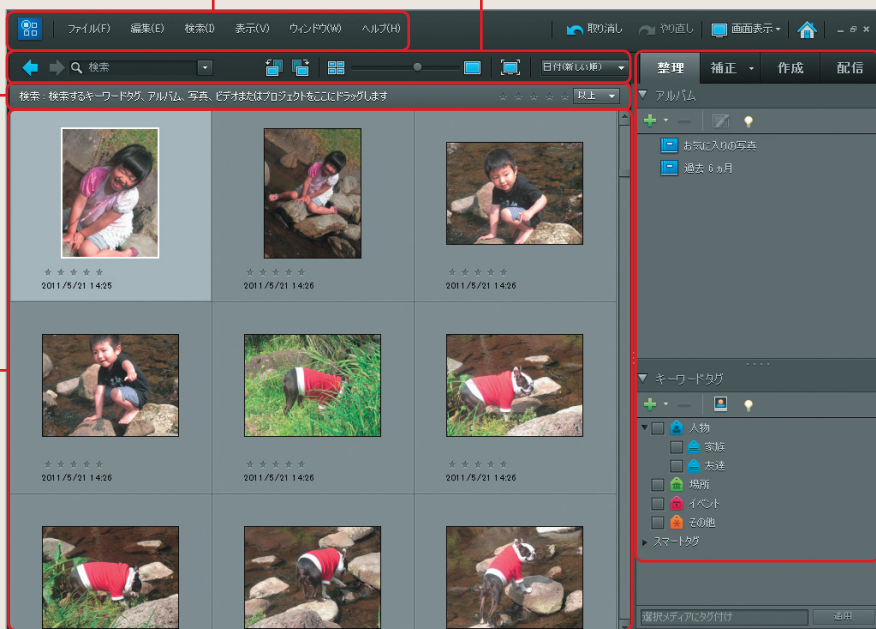
作業を実行するためのメニューが含まれています。

ツールバー

表示方法や操作の取り消し、検索など、メディアブラウザの基本操作ボタンが格納されています。

タスクエリア


[整理] タブには [キーワードタグ] パネルと [アルバム] パネルが格納されています。ここで画像の分類を行います。



メディアブラウザ

画像ビデオや作品を表示する場所です。さまざまな表示方法を選べるようになっています。

ステータスバー

表示中のカタログの情報が表示されます。右端にある  ボタンをクリックすると [環境設定] ダイアログボックスの [自動解析オプション] が表示されます。

メニューバーとボタン

メニューバーの機能

メニューバーには、操作の目的ごとに計6種類のメニュー項目が用意されています（Macではこれ以外に [Adobe Elements 10 Organizer] メニューもあります）。目的の操作を選ぶには、これらの項目をクリックして表示されたコマンドを選択します。各項目の内容は、次のようになっています。

【ファイル】メニュー

画像を取り込んだり、ファイルを書き出すといった、基本的な操作を選べます。

【検索】メニュー

読み込んだ画像を検索するための、さまざまなメニューが用意されています。

【ウィンドウ】メニュー

ワークスペースを切り替えたり、ウィンドウの表示・非表示を切り替えたりすることができます。

【編集】メニュー

選択している画像のコピーや回転といった編集項目が収められています。環境設定もここから選択できます。

【表示】メニュー

サムネール下にファイル名を表すなどのメディアブラウザー表示に関する項目があります。

【ヘルプ】メニュー

わからないことがあったときに使用するメニュー項目です。

ボタンの各機能

ボタンは、よく使用する操作をアイコンで表示し、簡単に選択できるように工夫されています。前の画面に戻ったり、操作を取り消したりといった作業もボタンひとつで行うことができます。



① 取り消し・やり直しボタン

ひとつ前の操作を取り消したり、取り消した操作をやり直したりすることができます。

② 画面表示ボタン

メディアブラウザーの表示方法をメニューから選択することができます。

③ 移動ボタン

メディアブラウザーの表示をひとつ前や後に切り替えます。

④ テキストボックス

入力したテキストで写真を検索します。

⑤ 回転ボタン

クリックすると、左右それぞれに画像を回転することができます。

⑥ サムネール

クリックすると、サムネールを最小または最大サイズに変更することができます。間にあるスライダーではサイズの微調整が可能です。

タブの各機能

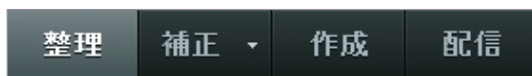
通常、Elements Organizerでは [整理] タブが表示されていますが、他のタブをクリックするとボタンが表示されて、補正や電子メールに添付するなどの操作を簡単に行えます。

【整理】タブ

画像を分類するための [アルバム] パネルと [キーワードタグ] パネルが格納されています。

【作成】タブ

フォトブックやスライドショーなど、さまざまプロジェクトを作成します。



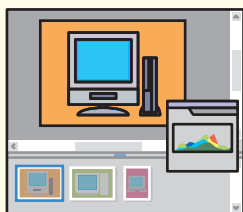
【補正】タブ

ワンクリックで行える簡易色調補正コマンドを利用できます。また、[補正] タブにポインターを置くと矢印が表示され、クリックすると編集ワークスペースの各モードへ移動することができます。

【配信】タブ

画像を電子メールに添付したり、CDやDVDを作成したりできます。

重要度 ▶ ***

取り込み
(カメラ・カードリーダー)デジタルカメラから
画像を取り込むには

デジタルカメラで撮影した画像を、Elements Organizerに取り込んでみましょう。取り込みには、カメラを直接USBケーブルなどで接続する方法と、デジタルカメラのメモリーカードをカードリーダーで読み込む方法があります。

操作のポイント

カメラを接続

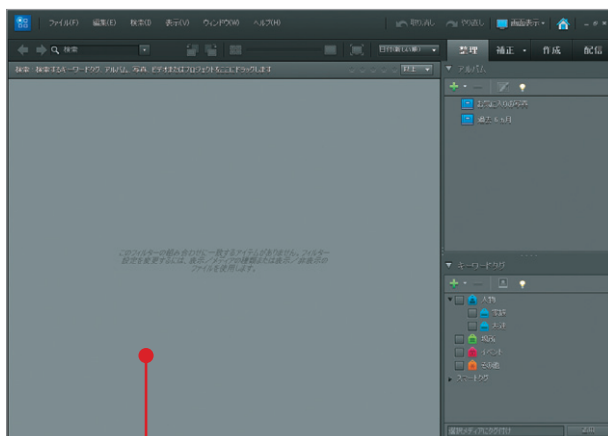
[取り込み] ボタンを
クリックパソコンにデジタルカメラを
接続する

デジタルカメラやiPhoneなどから画像を取り込んでみましょう。まず、Photoshop ElementsのElements Organizerが起動した状態で①、取り込みたい画像を撮影したデジタルカメラをパソコンに接続します②。

ここに
注意!

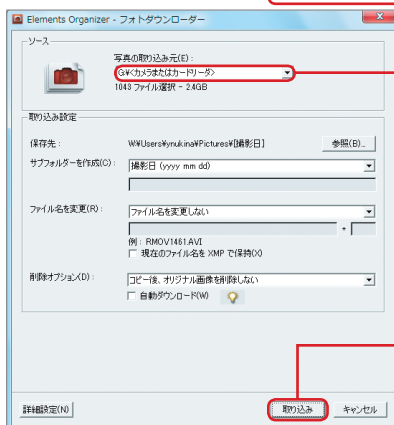
ドライバーソフトが必要

デジタルカメラを接続するには、デジタルカメラに付属しているかWebサイトなどで配布されているドライバーソフトが必要になる場合があります。

① Elements Organizerを
起動しておきます。② デジタルカメラを
パソコンに接続します。

デジタルカメラの接続を確認する

すると、自動的に「フォトダウンローダー」ダイアログボックスが表示されます。「写真の取り込み元」に、接続したデジタルカメラが選択されていることを確認し③、「[取り込み]」ボタンをクリックします④。

③ ここでデジタルカメラが
選択されていることを確認します。④ ここをクリック
します。知っておくと
便利!

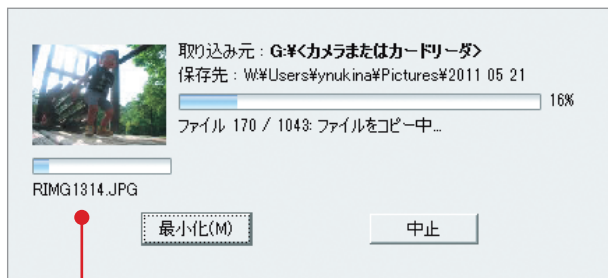
写真を選んで読み込む

ダイアログボックスの左下にある「詳細設定」ボタンを押すと、デジタルカメラに保存されている写真から、読み込みたいものだけを選べるようになります。

3

画像のコピーが開始される

画像のコピーが始まるので、しばらくそのまま待ちましょう (5)。コピーが終わると [ファイルを正常にコピーしました] ダイアログボックスが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします (6)。

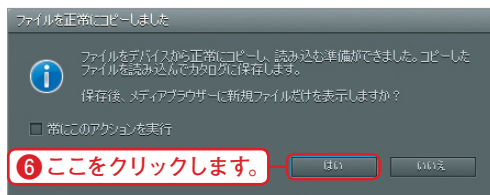


5 そのまましばらく待ちます。

なぜ?
こうなる。

ダイアログボックスが表示されない

[フォトダウンローダー] ダイアログボックスが表示されない場合は、[ファイル] メニューから [写真とビデオの取り込み] → [カメラまたはカードリーダーから] を選択して表示しましょう。



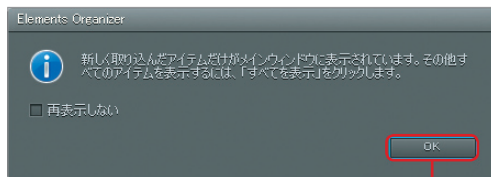
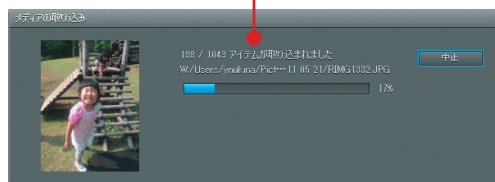
6 ここをクリックします。

4

画像の取り込みが開始される

画像の取り込みが始まるので、しばらくそのまま待ちましょう (7)。画像の取り込みが終わると、右のダイアログボックスが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします (8)。

7 そのまましばらく待ちます。



8 ここをクリックします。

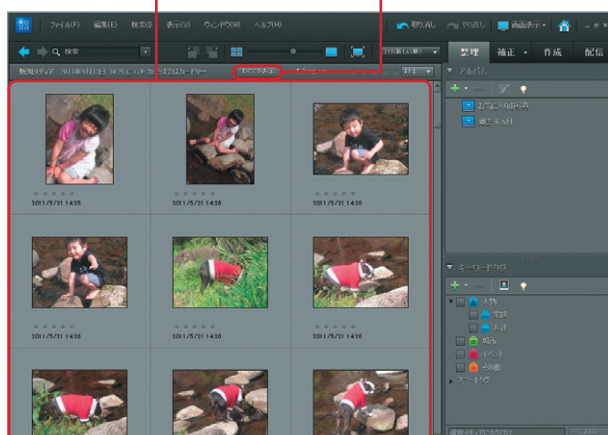
5

デジタルカメラから画像を取り込めた!

取り込みが完了し、今取り込んだ画像が一覧で表示されます (9)。**[すべてを表示]** ボタンをクリックすると、通常のメディアブラウザの表示に戻り、取り込んだ画像がすべて表示されます (10)。

9 画像が取り込まれました。

10 ここをクリックすると元の表示に戻ります。



知っておくと
便利!

メモリーカードも同じ手順で

メモリーカードをデジタルカメラから外し、カードリーダーで読み取って画像を読み込むこともできます。手順はデジタルカメラの場合と同じです。



試し読みはお楽しみ
いただけましたか？

ここからはManatee
おすすめの商品を
ご紹介します。

Manatee Tech Book Zone 

本格的な補正・加工で思い出の写真を美しく残そう!

なかなか使いこなすのが難しいPhotoshop Elements 15の操作や機能をやさしく解説! 補正や加工、SNSへの投稿など写真編集をもっと楽しみたい人にぴったりな入門書です。本書は「逆光で撮影した写真を補正するには」「年賀状を作成してみたい」など、実際に写真を編集する上で生まれる疑問をレッスン仕立てて解説しています。また、グラフィックデザイナーによるプロ技や操作のコツも伝授し、ワンランク上の技を身に付けられます。

本書でマスターできる
主な補正・加工の一覧

※この一覧は、各巻のレッスンを通して写真の補正加工の解説が主です。それ以外の補正加工もレッスンあり。詳細は巻末の「目次」を参照してください。



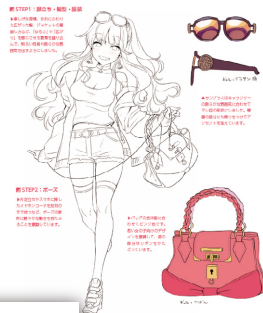
巻頭ではさまざまな補正例を紹介。ここから使いたい機能を見つけ出せる

メディア別だからよくわかる魅力的なキャラクターの描き方!

創作物を作るうえで欠かせないものに「キャラクター」があります。その際は見た目のキャッチーさだけでなく、キャラクター性が感じられることが重要です。本書では、キャラクターをデザインするうえでの基礎から、見た人の印象に残るようにする方法を解説。スマホゲームやポスターイラスト、ラノベ表紙など、メディアによって異なるキャラクターデザインの特徴についても解説し、読み手に合った方向を見つける際にも役立ちます。

Lesson 03 ラフを基にキャラをデザインする

ラフデザインが制作の第一歩。ラフを描くことでキャラクターのイメージを固め、最終的なデザインに活かす。この段階でキャラクターの個性や魅力を出せるように描くことが重要。

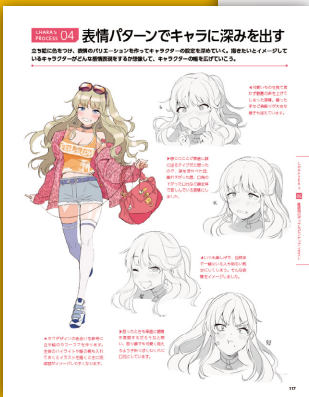


総勢12名のイラストレーターが多彩な作風と考え方でキャラクターイラストを描く

依頼元からの発注時のイメージから、キャラクターを作り上げていく

「グラフィックス・デザイン」

解説は基本的に見開きで完結。補正前と後の写真を「Before・After」形式で掲載



できる Photoshop Elements 15 Windows & Mac 対応

インプレス
樋口泰行・
できるシリーズ編集部(著者)
320 ページ
価格: 1,631 円(PDF)



グラフィック
アプリケーション

物語を動かす
キャラクターデザインと
イラストの描き方

マイナビ出版
スタジオ・ハードデラックス(著者)
160 ページ
価格: 2,257 円(PDF)



その他

現役ディレクターが教える
ライティング & レンダリング



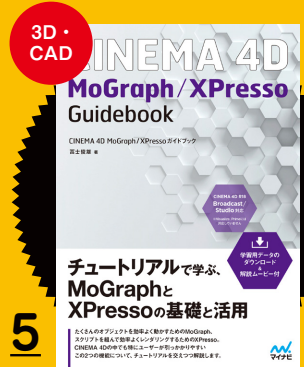
3

AutoCAD の勘所を
人気講師がやさしく解説!



4

CINEMA 4D の
MoGraph/XPresso を解説!



5

&

&

[digital]
ライティング&レンダリング 第3版

3DCG 制作の中でもライティングとレンダリングにフォーカスし、より高品質な作品に上げるための解説書。テキスト制作のカラーマネージメント、物理ベースライティングやリニアワークフローなどにも触れています。

ポーンデジタル
Jeremy Birn (著者)
472 ページ 価格: 7,560 円 (PDF)

できる AutoCAD
2017/2016/2015 対応

ベテラン講師が AutoCAD の基本と実践をやさしく解説しています。初学者が押さえておくべきポイントやつまづきがちなお操作を特に厚く解説しているので、初めてでも AutoCAD の勘所がしっかり分かります。

インプレス
矢野悦子・できるシリーズ編集部 (著者)
337 ページ 価格: 2,624 円 (PDF)

CINEMA 4D
MoGraph/XPresso ガイドブック
【解説ムービー付き】

CINEMA 4D の XPresso と MoGraph に関する解説書。この 2 つの機能は、CINEMA 4D の中で中級～高級レベルのユーザーが必ず引かかるもので、近年かなり重要視されています。本書は MoGraph と XPresso に絞って解説しました。

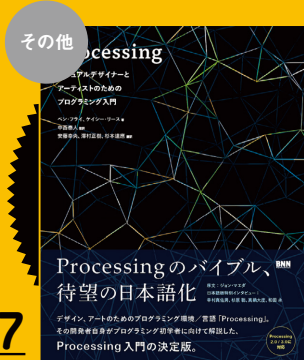
マイナビ出版 富士雄雄 (著者)
328 ページ 価格: 4,514 円 (PDF)

表現のアイデアを形に!
「vvvv」の入門解説書



6

デザイン・アートのための
プログラミング環境を詳解



7

DTP や印刷業界全般で
知っておくべき情報を網羅



8

&

&

vvvook—プロトタイピングのための
ビジュアルプログラミング入門

Windows ソフト「vvvv」は様々な機能を持った〈部品〉を線で繋ぐことで、表現のアイデアを素早く形にできるビジュアルプログラミング環境です。インタラクション・2D/3D アニメーションなど幅広い制作で活躍します。

ビー・エヌ・エヌ新社
伊東実・星卓哉 (著者)
224 ページ 価格: 3,110 円 (PDF)

Processing
ビジュアルデザイナーとアーティストの
ためのプログラミング入門

Processing は、デザイナーやアーティストなどに向けて作られたプログラミング言語・環境です。そこでの体験は、文系と理系、デザインとエンジニアリング、感性と論理という両軸における領域横断接続をもたらします。

ビー・エヌ・エヌ新社 Ben Fry・Casey Reas (著者)、中西泰人・安藤幸央・澤村正樹・杉本達磨 (翻訳)
688 ページ 価格: 6,804 円 (PDF)

カラー図解
DTP & 印刷スーパーしくみ事典 2016

DTP や印刷物に携わるすべての人に役立つ図解事典。業界のトピック110 を特集するほか、Adobe Creative Cloud の最新機能、サービスを使った表紙制作レポート、デジタル印刷機の動向などを110の項目にまとめました。

ポーンデジタル
ポーンデジタル 出版事業部 (編集)
329 ページ 価格: 4,104 円 (PDF)